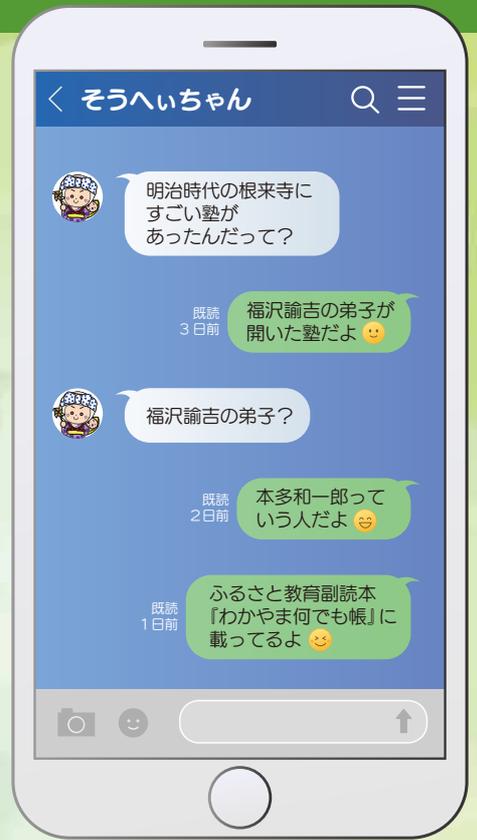


近代のいわで その魅力に 迫る!



2025
2月22日

13:00 ▶▶ 開場

13:30 ▶▶ 開演

15:00 ▶▶ 終演予定



入場無料 定員200名

(事前申込不要)

先着200名様に来場者記念グッズをプレゼント

会場：旧和歌山県議会議事堂(一乗閣)



■プログラム

【郷土文化の披露】

大宮神社神楽会による獅子舞

根来の子守唄つくしによる根来の子守唄

【講演会】

演題「教育文化史にみる、
岩出の大いなる魅力！」

講師：曾野 洋 SONO HIROSHI



主催：岩出市教育委員会

協力：大宮神社神楽会・根来の子守唄保存会

曾野 洋 SONO HIROSHI

四天王寺大学社会学部教授・近畿大学特別研究員・慶應義塾大学客員研究員

1987年に慶應義塾大学法学部卒業後、神戸大学大学院修士課程、名古屋大学大学院博士後期課程を経て、慶應義塾大学SFC研究所上席所員、慶應義塾福沢研究センター客員所員、四天王寺大学教育学部長、同大学IR戦略統合センター長などを歴任し現在に至る。専門分野は日本教育文化史ならびに地域史・地域振興史で、主に江戸時代の私塾や、地域における近代学校の経営史などを研究。また、日本の奨学金制度や博物館の歴史にも詳しく、現在、公益財団法人(育英事業)理事や公立博物館協議会委員などを兼務する。さらに、華岡青洲・浜口梧陵・福沢諭吉・陸奥宗光・世耕弘一・松下幸之助という関西が生んだ巨人の業績を再吟味し、現代人が学ぶべき事柄を追求している。追求した成果の一端を、「毎日新聞」で連載中(2012年4月～現在)の論説やコラム(範は紀州史にあり)などの形で公表。主な著作に、単著『生誕100年 司馬遼太郎への手紙』(ドニエプル出版、2023年)・共著『新版：現代社会への多様な眼差し』(晃洋書房、2020年)・共編著『和歌山県教育史』全3巻(同県教育委員会、2006～2010年)など多数あり。

【講演概要】

明治時代の根来寺などで若者育成を目的とした私塾「共修学舎」(日本の私立中学のさきがけ)を開いた郷土の偉人、福沢諭吉門下生の本多和一郎(1852～1895年)。そして、明治初期の紀州の諸問題を、今風の言葉で言うと紀北版広域連合によって解決しようと試みた、政治結社「実学社」那賀郡岩出組。これらについて多角的に語りながら、岩出の歴史的魅力に接近します。



さくらちゃん

大宮神社神楽会

神楽は、日本古来の神事において神に奉納するため奏される歌舞です。大宮神社では、古くから伝わる齋刺祭(よみさしまつり)という祭礼が毎年10月に行われ、獅子舞などが奉納されていました。大宮神社神楽会は、しばらく途絶えていた神楽を復活させ未来に継承していくために結成された会です。

齋刺祭のほか、かくばん祭りなどの行事にも参加し、獅子舞を披露する活動をしています。

現在、復活させた獅子舞ですが、古来から続く齋刺祭で神に奉納する舞の活動を行っていることから、未来に継承していく郷土文化であるととらえることが出来ます。



根来の子守唄保存会・根来の子守唄つくし

古くから私たちのふるさとで唄い継がれてきた子守唄。昭和41年、和歌山市民会館で行われた郷土芸能大会に参加したのが保存会の前身である婦人会での活動の始まりでした。ふるさとで生まれた子守唄を後世まで唄い継いでほしいという先人達の願いを胸に、私たちは、これからも根来の子守唄の普及・啓発に努力していきます。

根来の子守唄つくしは、放課後子ども教室で出会った子どもたちで構成するユニットです。子守唄を未来に伝えていってほしいという想いを込めて名付けました。小学校を卒業したお姉さんたちと小学生と一緒に根来の子守唄をお届けします。メンバー募集中！ Facebook(根来の子守唄) ホームページ <https://negorokomoriuta.wixsite.com>



岩出市イメージキャラクター
そうへいちゃん

